

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成28年9月29日(2016.9.29)

【公開番号】特開2014-49131(P2014-49131A)

【公開日】平成26年3月17日(2014.3.17)

【年通号数】公開・登録公報2014-014

【出願番号】特願2013-176861(P2013-176861)

【国際特許分類】

G 06 F 11/28 (2006.01)

【F I】

G 06 F 11/28 310 A

G 06 F 11/28 L

【手続補正書】

【提出日】平成28年8月16日(2016.8.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

方法であって、

集積回路のトレース動作モードをイネーブルすることと、

前記トレース動作モードがイネーブルされるのに応答して前記集積回路のメモリにトレース情報を記憶することと、

前記トレース動作モード中に第1のタイプのウォッチポイント(watchpoint)の発生が検出されるのに応答して、前記メモリから前記トレース情報をフラッシュすることであって、該メモリをフラッシュすることは前記トレース動作モードを変更せず、前記ウォッチポイントの発生を検出することは、第1の前記トレース情報を記憶した後に発生する、フラッシュすることとを含む、方法。

【請求項2】

前記集積回路において、前記メモリを前記フラッシュしたことと示すトレースメッセージを生成することをさらに含み、前記トレースメッセージは前記集積回路の外部インターフェースに提供されることになる、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記ウォッチポイントの前記発生を示すトレースメッセージを生成することをさらに含み、前記トレースメッセージは前記集積回路の外部インターフェースに提供されることになる、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

デバイスであって、

出力部を備えるトレースモジュールであって、該トレースモジュールは前記出力部においてデータプロセッサのトレース情報を提供する、トレースモジュールと、

出力部を備えるウォッチポイントモジュールであって、該ウォッチポイントモジュールは、ウォッチポイント事象の発生を検出するのに応答して、前記出力部においてフラッシュ指示子を提供する、ウォッチポイントモジュールと、

前記トレースモジュールの前記出力部および前記ウォッチポイントモジュールの前記出力部に結合されるメモリモジュールであって、該メモリモジュールは、前記フラッシュ指示子に応答して前記メモリモジュールに記憶されている、バッファリングされたトレース

情報をフラッシュする、メモリモジュールとを備える、デバイス。

【請求項 5】

前記トレースモジュールは、前記ウォッチポイントモジュールに結合され、前記フラッシュ指示子が提供されていることを示すトレースメッセージを生成するものである、請求項4に記載のデバイス。